

第5回ホスピタリティデザイン会議

ホスピタリティが拓く未来－歓びを創るデザイン

この会議は、産業論理の市場を超え、使い手のホスピタリティから見えてくるデザインを捉え直すことを提言として、東京芸術大学との協力で2009年10月より開催して参りました。家電住環境、クルマと移動、ツーリズム、身体のホスピタリティの4テーマにまたがる総合的なデザインカンファレンスになります。

第5回会議では、「ホスピタリティ・ライフデザイン」と題して、世界を代表する文化リゾート、ウィンザーホテル洞爺の窪山哲雄氏と、文化資本経営をかけた、ホスピタリティを見つめ続けてきた資生堂名誉会長の福原義春氏との対談を行います。文化の力、歓びを創るデザインが拓く、豊かなホスピタリティ経済への想いをうかがいます。これまでの講演者との公開討論会も交え、転換の本質へと迫ります。

日 時

2010年10月14日(木)

14:00~17:30 基調対談、公開討論会と意見交換会(交歓会)の構成

会 場

東京芸術大学

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

第5回テーマ

「ホスピタリティ・ライフデザイン」

基調対談

資生堂	株式会社資生堂 名誉会長 福原義春氏
ウィンザーホテル 洞爺	株式会社ザ・ウィンザー・ホテルズ インターナショナル 代表取締役社長 窪山哲雄氏

お申し込みは別紙の参加申込用紙にご記入の上、10月5日までにFaxにてお送りください。

* 開催までの案内やこれまでの情報はこちらからご覧になれます。

<http://hospitalitydesignforum.jp>

第5回ホスピタリティデザイン会議

基調対談

Profile



福原義春 (ふくはらよしはる)

株式会社資生堂 名誉会長

1931年東京生まれ。1953年慶応義塾大学経済学部卒業と同時に株式会社資生堂入社。1987年代表取締役社長、1997年代表取締役会長を歴任。2001年、名誉会長に就任。

東京都写真美術館長、(財)かながわ国際交流財団理事長、(社)企業メセナ協議会会長、東京芸術文化評議会会長、文字・活字文化推進機構会長、経営倫理実践研究センター理事長、全日本蘭協会名誉会長、日仏経済人クラブ日本側議長、パリ日本文化会館支援協会会長、経済人同人誌「ほぼづゑ」代表世話人、ほか公職多数。

主な著書に「部下がついてくる人・体験で語るリーダーシップ」(日本経済新聞社)、「会社人間、社会に生きる」(中央公論新社)、「文化資本の経営」(ダイヤモンド社)、「100の蘭」「101の蘭」(文化出版局)「猫と小石とディアギレフ」(集英社)「『自分らしい仕事』があなたを変える!」(青春出版社)、「ぼくの複線人生」(岩波書店)、「変化の時代と人間の力 福原義春講演集」(ウェッジ文庫)、「だから人は本を読む」(東洋経済新報社)、「福原義春の言葉 私は変わった 変わるように努力したのだ」(求龍堂)等。趣味は洋らんの栽培、写真。

平成10年、イタリア共和国・功績勲章グランデ・ウフィチアーレ章。平成13年、北京市榮譽市民。平成14年、フランス共和国・レジオンドヌール勲章グラン・トフィシエ章。平成16年、旭日重光章。平成20年、東京都中央区名誉区民。平成21年、神奈川文化賞



窪山哲雄 (くぼやまとつお)

株式会社ザ・ウィンザー・ホテルズ
インターナショナル 代表取締役社長

1948年福岡県生まれ。71年慶應義塾大学法学部卒。72年ロンドン大学経済学部大学院修了、帝国ホテル入社。75年米国コーネル大学ホテル経営学部卒業後、ニューヨークのウォールドルフ・アストリアホテル、米国ヒルトンコーポレーション入社。78年ホテルニューオータニ入社。東京ベイヒルトンなどを経て、91年NHVホテルズインターナショナル(現ハウステンボスホテル事業部)社長。91～97年まで1室当たりの収益率日本一を達成。97年に(株)ザ・ウィンザー・ホテルズインターナショナルを設立、社長就任。2008年同ホテルが北海道洞爺湖サミットの会場に指定される。

主な著書に『図解 クボヤマ流あなたのファンをつくる サービスの教科書』(インデックス・コミュニケーションズ)、『サービス哲学』(オーエス出版社)、『プロジェクト・ホテル—奇蹟の再生に賭けた男が創るこだわりのリゾートホテル』(小学館)、『ウィンザーホテル洞爺夢のホテル』(小学館)ほか。

基調ディレクション

山本哲士 (やまもとてつじ)

社会学・哲学研究者 東京芸術大学客員教授

学術研究と企業における創造的価値への開発ディレクションを行ってきた。東京デザインネットワークや資生堂文化資本プロジェクトFAクラブ、季刊 iichiko など。

(Photo:2008/2/1 国際ホスピタリティビジネス会議京都)